事例で学ぶ 上手な聴き方編

職場におけるメンタルヘルスケアのために、日常の良好なコミュニケーションのコツを学びます。

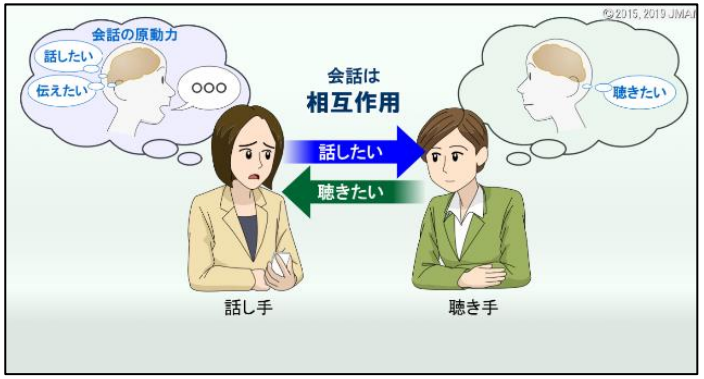
社員の健康向上やメンタルヘルスケア、といった労働安全衛生への取組みは、企業の社会的責任（ＣＳＲ）の一つと位置づけられ、継続することによって企業価値を高めると捉えられています。

本コースでは、職場における具体的な場面を取り上げ、どのように声かけをしたらよいか、相手の話を聴いたらよいか、というポイントを押さえ、日常のコミュニケーションにおける意識を高めることをねらいとしています。

職場の一人ひとりのコミュニケーションスキルへの意識を高めることで、職場（チーム）全体で相互に支援する雰囲気づくり－メンタル・サポートの風土づくりを行います。

＜本コースのねらい＞

- 職場で起こりがちな事例を取り上げて解説することにより、職場での声かけや聴く姿勢・スキルへの意識を高めながら学習できます。
- 職場(チーム)の環境づくりのために、前向きなコミュニケーションにつなげる視点を盛り込んで解説します。



＜コースカリキュラム＞

第1章「聴くこと」は コミュニケーションの潤滑油	1-1 あなたは話を「聴ける？」「聴けない？」 1-2 コミュニケーションの基本は「聴くこと」 1-3 無意識に相手を傷つける聴き方の姿勢 1-4 人間関係をよくする聴き方の姿勢
第2章 事例で学ぶ「聴き方」	2-1 事例① 報告・連絡 2-2 知っておきたいこんなコツ ［聴くことは理解を伝え返すこと］ 2-3 事例② 相談 2-4 知っておきたいこんなコツ ［相手のメッセージをつかむ］ 2-5 事例③ 定期的な面談 2-6 知っておきたいこんなコツ ［聴き上手になる質問］ 2-7 事例④ クレーム 2-8 知っておきたいこんなコツ ［受け答えのスキルアップ］

＜概要＞

受講対象者	ビジネスパーソン全般
監　修	●武藤　清栄 東京メンタルヘルス　所長
仕様	●想定学習時間：2時間 ●最短実行時間：30分 ●テスト数：1（全10問、ランダム出題）

©JMA MANAGEMENT CENTER INC 無断複製転載を禁じます